

臨床総括講義

責任者	氏名	西田 教行	内線	7057
	教室	感染分子解析学	e-mail	noribaci@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	木曜日午後4時30分～午後5時30分		

対象年次・学期	5年前期・6年前期	講義形態	講義・演習・実習
必修・選択	必修	単位数	8.5
英語名	Clinical Core Lecture		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

4年生までに学習した医学の総論・各論を総括する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

構成：総括講義、PBLチュートリアル、卒前集中講義

【総括講義】以下の総括講義からなる。内科総括講義、精神神経科総括講義、小児科総括講義、外科総括講義、整形外科総括講義、泌尿器科総括講義、眼科総括講義、産婦人科総括講義、脳神経外科総括講義、形成外科総括講義、心臓血管外科総括講義、総合病理学、東洋医学

【PBLチュートリアル】PBLチュートリアルの授業計画を参照のこと

【卒前集中講義】卒前集中講義の授業計画を参照のこと

3. 教科書、参考書等

適宜。

4. 成績評価の方法・基準

各総括講義、PBLチュートリアル、卒前集中講義の授業計画を参照。

臨床総括講義は、各総括講義（第5年次）、PBLチュートリアル（第5年次）、卒前集中講義（第6年次）から構成され、卒業試験合格及びPBLチュートリアル合格が単位修得要件となる。

総括講義、PBLチュートリアルにおいて、それぞれ出席すべき時間数の3分の1を超えて欠席した者は、第5年次で再履修しなければならない。また、左記に該当する者は、臨床実習を履修することができない。

5. 教員名

授業計画を参照。

卒前集中講義 (6年前期)

月	日	曜日	校時	授業項目	担当講座等	担当教員	教室
6	29	月	1	国家試験のための画像診断の知識	放射線科	上谷 雅孝, 西田 暁史	3講
			2	救急疾患の画像診断			
			3	胸部外科領域の押さえておくべきポイント	外科1	永安 武	
			4	消化管癌および炎症性腸疾患	消化器内科	竹島 史直	
6	30	火	1	月経異常、正常異常妊娠	産婦人科	北島 道夫	3講
			2	腎不全・蛋白尿	内科2	西野 友哉	
			3	創傷外科と慢性創傷、再生医療	形成外科	田中克己	
			4	脳腫瘍	脳神経外科	松尾 孝之	
7	1	水	1	心エコー	循環器内科	恒任 章	3講
			2	先天性心疾患	心臓血管外科	谷川 和好	
			3	神経疾患の診断と治療	内科1	辻野 彰	
			4	国家試験対策 代謝疾患の考え方	内科1	阿比留 教生	
7	2	木	1	統合失調症と双極性障害	精神神経科	小澤 寛樹	3講
			2	失神	総合診療科	大園 恵幸	
			3	運動麻痺・筋力低下	整形外科, 脳外科, 感染分子 (脳神経系)	○富田雅人, 出雲 剛, 白石 裕一	
			4				
7	3	金	1	先天性疾患と遺伝性疾患	小児科, 産婦人科	○森内 浩幸(近藤 達郎), 三浦 清徳	3講
			2				
			3	心電図の読み方	循環器内科	前村 浩二	
			4	胸痛	循環器内科, 内科2	○前村 浩二, 尾長谷 靖	
7	6	月	1	産業保健	公衆衛生	安部 恵代	3講
			2	老人保健	公衆衛生	青柳 潔	
			3	眼底所見(糖尿病を含む)	眼科	上松 聖典	
			4	肝炎・肝硬変・肝癌	消化器内科	中尾 一彦	
7	7	火	1	救急蘇生, 小児救急	小児科, 救命救急センター	○森内 浩幸, 田崎 修, 山下 和範	3講
			2				
			3	検査値の見方	臨床検査	○柳原 克紀, 長井 一浩	
			4	国家試験: 輸血医療からのアプローチ			
7	8	水	1	感染症の診断と治療	内科2, 熱研内科	○泉川 公一(2校時), 有吉 紅也(1校時)	3講
			2				
			3	呼吸困難	循環器内科, 耳鼻科, 内科2	○前村 浩二(3校時), 金子 賢一, 尾長谷 靖	
			4				
7	9	木	1	膠原病-血管炎症候群を中心として 内臓疾患と皮膚病変	内科1, 皮膚科	○川上 純(折口 智樹), 宇谷 厚志	3講
			2				
			3	貧血	原研内科	波多 智子	
			4	めまい	耳鼻科, 脳外科	○高橋 晴雄(隈上 秀高), 出雲 剛	
7	13	月	1	救急の輸液管理, ショック, 電解質異常	救命救急センター, 内科2	○田崎 修, 山下 和範, 浦松 正	3講
			2				
			3	化膿性関節炎/リウマチ性疾患・変形性関節症	整形外科, 内科1	○尾崎 誠(3校時), 川上 純(4校時)	
			4				
7	14	火	1	排尿機能と排尿障害	泌尿器科	酒井 英樹	3講
			2	腹部外科領域の押さえておくべきポイント	外科2	江口 晋	
			3	腹痛	外科1	安武 亨	
			4	白血病	原研内科	宮崎 泰司	
7	15	水	1	不整脈	循環器内科	深江 学芸	3講
			2	小児に特徴的な common diseases	小児科	森内 浩幸	
			3	肺癌および鑑別を要する疾患	内科2	中村 洋一	

高次臨床実習

責任者	氏名	大園 恵幸	内線	7591
	教室	総合診療学	e-mail	oozono@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	17:30～18:30		

対象年次・学期	6年・前期	講義形態	実習
必修・選択	必修	単位数	18単位
英語名	Clinical Clerkship II (Elective Clerkship courses)		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

学生が診療チームに参加し、その一員として診療業務を分担しながら医師の職業的な知識・思考法・技能・態度の基本的な部分を学ぶことを主旨とする。5年次の臨床実習と比較し、より診療参加型の実習となる。

以下の診療科より3科を選択し、1ターム4週間の実習を3ターム行なう。

第1内科（神経、内分泌・代謝、リウマチ・膠原病）、第2内科（呼吸器、腎臓）、循環器内科、消化器内科、原研内科、熱研内科、総合診療科、離島・地域医療（五島中央病院・上五島病院、中対馬病院、対馬いずはら病院）、精神神経科、小児科、第1外科、第2外科、整形外科、皮膚科・アレルギー科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、産科婦人科、麻酔科、救命救急センター、脳神経外科、形成外科、心臓血管外科、法医学、病理部、臨床検査、ライデン大学、ビュルツブルグ大学、プサン大学、ハーリム大学、市民病院、原爆病院、済生会病院

2. 授業内容（講義・実習項目）

選択科により異なる。高次臨床実習要項を参照。

3. 教科書、参考書等

適宜。

4. 成績評価の方法・基準

各タームで、出席状況、実習状況等を総合し、評価表に基づいて評価する。3ターム全ての合格を以て高次臨床実習の合格とする。

5. 教員名

高次臨床実習要項を参照。

アドバンストリサーチセミナー

責任者	氏名	西田 教行	内線	7057
	教室	感染分子解析学	e-mail	noribaci@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	木曜日午後4時30分～午後5時30分		
対象年次・学期		4年前・後期, 5年前期・後期、 6年前期	講義形態	講義・実習
必修・選択		必修（研究医コース）	単位数	各1単位
英語名		Advanced research seminar		

1. 授業のねらい・目標

基礎医学を担う研究者の育成により卓越した教育及び研究成果を社会に還元することは医学部の使命である。基礎教室配属による少人数教育により基礎科学に必須の基礎的学力や柔軟な応用力を身につけ、科学的思考により問題を解決できる将来の医療人を養うことを目標とする。プレリサーチセミナー及びリサーチセミナーで修得した基礎医学の基礎的学力をさらに発展させる。

2. 配属教室の選択方法

配属教室は、原則として、リサーチセミナーの配属教室とするが、変更を希望する場合は、教務委員会にて審議のうえ、変更を許可することがある。

3. 活動内容・履修方法等

配属教室において、研究テーマ・目標を設定し実験を行う。

なお、5年次、6年次の履修については、配属教室と相談のうえ、5年次の2単位は4年次での修得可能とし、6年次前期の1単位は、5年次での修得または論文作成による修得を可能とする。

4. 成績評価の方法・基準

配属教室での活動、研究成果に基づき担当教員が100点満点で評価する。

5. 指導教員など

医学部基礎系教室等の教員

6. 備考（準備学習等）

担当教員が提示する。